

I 一人ひとりの人権が尊重され安心して暮らせる明るいまちの実現

No	主なご意見
<p>1 個人としての 尊厳の尊重と 性別に基づいて 起こる人権侵害の 禁止</p>	<p>* 教育・学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭または幼稚園、保育園の頃からの教育が重要 ・家庭教育の欠如 ・「教育」という表現だけでは学校教育を連想してしまう ・男女平等教育の指標は「男女平等教育の手引」を活用した授業であることを明記すべきでは。 ・男女平等、男女共同参画の教育が不十分 ・まずは親に対する啓発が必要 ・幼児期からの男女共同参画よりも企業・社会人に対して必要では。 ・公民館の役目は大切。充実させる必要がある。 <p>* 人材の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成が講師登用に限定されるのはおかしい。 ・「さんかくカレッジ修了生」数値目標が「回数」なのはおかしい。 ・さんかくカレッジの修了生の講師登用回数について「1人あたり10回以上」とする方がいいのでは？ ・「人材の養成」ではなんのための人材か不明。男女共同参画を推進する人材の養成であることを明記してはどうか。 ・町内会、民生委員など地域のリーダーへの研修が効果的。 <p>* 情報教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーの重要性。→ジェンダーギャップはメディアの影響が大きい。 ・メディアについて学ぶ→その中で気づく→変革 ・メディア自主規制←視聴者の意識を高まればメディアも変わる。市が率先してメディアに働きかけ。 <p>* 地域における幅広い年代、多様な立場の人との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のカリキュラムの1つとして子どもとお年寄りの関わる場 ・先生、親以外の大人との関わり→考え方、様々な意見を得ることが重要 ・3世代がふれあえる祭りなど地域イベント、活性化、いろいろな人とのかかわりの場をもつ。 ・3世代同居のよさを見直す←祖父母が子どもをみるのが当たり前ではない！←現実に難しい？ <p>* 人権尊重や困難を抱える人への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTを含む、人権の尊重 ・外国人の人権の尊重 ・個性を活かした、障害があっても孤立しないで暮らせる、地域とのつながり(精神障がい者と地域の交流も) ・シングルマザーも安心して育てられるように社会保障制度をトータルで見直した方がいい
<p>2 びの配 被暴偶 害力者 者防等 支止か 援及ら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(DV防止のために)言葉で伝えるコミュニケーション→暴力の防止(子どもの頃から) ・DVの未然防止→メディアの影響が大きい ・デートDVへの対策 ・若い女性への啓発が重要

3
た性
健と
康生
支殖
援の
健康
と権
利の
確保
及び
生涯
を通
じ

*** 性と生殖の健康と権利**

- ・リプロの理解促進が重要。産まない選択肢もあるし、産めない人もいる。
- ・個性が大切にされてこそ「性と生殖の健康と権利」が成り立つ。
- ・学校教育 性教育の重要性・妊孕性←妊孕性を知ってもらうことが重要。
- ・若い女性への性教育

*** 生涯を通じた健康づくり**

- ・健康づくり→高齢者のことが入っていない。
- ・元気で外に出ることによって新しい発見がある。
- ・元気なお年寄りの比率を知りたい。
- ・シルバー、高齢者より「シニア」が聞こえがいい。
- ・福祉の充実？スポーツジムより市の施設を充実させて。
- ・骨密度(骨粗しょう症)を指標にいれではどうか。(女性の健康に重要)

*** 多様な性**

- ・みんな違ってみんないい！ 性の多様性について理解促進
- ・LGBTについて大学の授業で初めて知った。高校の講演会でも。中学生では??? →全ての人に知ってほしい。
- ・TVのタレントのイメージ強い。一般の人も、あなたの周りにもいるよ。知らないだけ。

ワークショップでの主な意見

II 多様な意見が生かされ互いの生き方を認め合えるまちの実現

No	主なご意見
<p>4 固 定 的 な 性 別 役 割 分 担 の 解 消</p>	<p>* 地域・家庭・職場における固定的役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会など地縁組織の会長職は男性がほとんど。同じ人が長くするのではなく会長職の任期を定めてはどうか。 ・高齢者にもっと活躍の場を！ ・地域のつながりや老人会、清掃ボランティアなど、まずは参加してみることが大切。 ・家庭生活(家事、育児など)で女性の負担が大きく不平等。 ・働いていても女性に子育てや家事、妊娠・出産などで負担が大きい。学校などでの教育がもっと必要。女性が働くということへの意識がまだ十分ではない。 ・学校では平等だが、社会にでるとつまづく。男性は育休や子どものための休みがとりづらい(平等ではない) ・男性は育児休暇がとれない。 ・男はこうあるべきというプレッシャーが大きい。 ・「良妻賢母」の女性像を変えよう！ ・北欧は進んでいる まだまだ日本は性別による役割分担意識が強い。 ・職種で男女の区別が少なくなっている。 ・看護師も男性が増加している。 ・防災や理工系など女性の参画が少ない分野へ女性が進むためには祖父母や親世代の理解促進が必要。 <p>* 統計情報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー統計を岡山市で作る→啓発に活用してはどうか。 ・数値をだす時に男女の区別をしてほしい。ジェンダー統計の充実。統計に予算をつける。 ・男女別の統計で数値を把握し、毎年なにができていないか客観的に洗い出し、次のプランに重点的に反映。
<p>5 び 国 際 協 調 的 な 連 取 携 組 み に つ い て の 理 解 及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の住みやすいまちにするため、援助を増やしたらいいのでは。 ・国際交流の場がもっと必要。 ・言葉がわからなくても通じる。 ・外国人の雇用の場 雇用確保(定職) <p>・「外国人」という言い方ではなく“多様な異文化”を認めるとしてはどうか。“異文化、多様性”はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人への支援は基本目標1に入れる方がよい。子どものいじめも含まれる。外国人やこどものいじめなど、人権の尊重につながる。 <p>・「国際的な取組」「外国人への支援」をさなかくプランに結びつける必要ある？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の方と分かりあえる場がない。 ・留学生との交流促進。

*** 多様な意見を市政に反映**

- ・少数派の意見をくみ取る事が大事。その機会があればよい。
- ・少数派にはセクシュアル・マイノリティもいる 女・男だけではない視点で。
- ・子育て世代の人たちが意見を言えるようにしてほしい。子供をつれてこのようなワークショップにはなかなか行けない。
- ・多様な意見をもっと市民が言わないといけない。
- ・市民の意見をもっと取り入れてほしい。
- ・行政に対する意見がなかなか取り入れてもらえない。
- ・行政に意見が言いにくい(敷居が高い)→自分の意見が伝わるかな?「私」の意見が活かされたら、もっと参加したくなる。
- ・さんかくカレッジ卒業生を審議会や実行委員へ活用。

*** さんかく岡山について**

- ・さんかく岡山では政策提案できない… ←民間運営は?
- ・さんかく岡山の施設の老朽化に力を入れるべき。
- ・さんかく岡山の支部を作ったらいいのではないか(遠いから来れない人もいる。)
- ・登録団体の活用、意見をもっと聞く
- ・「さんかく」を民間に委託しては?→直営としての良さもある。何をするにしても市の枠にはまる→岡山市は市民を「客」としてしか見ていない→毎年同じ人、事なかれ
- ・達成感が得られるようにしてほしい(さんかくウイークイベントなど)
- ・ジェンダーの視点で市民が提案した講演会の開催をもっとしたらいいのではないか。市民が提案しやすくなるように。
- ・市民協働の事業の募集回数をふやしてほしい(さんかくウイーク以外で)
- ・さんかく岡山で30代、40代の女性が参加できる企画を!
- ・30代、40代の女性に向けた啓発が重要。

*** 地域での活動**

- ・若い人たちに男女共同参画についての活動をもっとしてほしい。
- ・3世代の交流が重要。
- ・男性を地域活動に引っ張り出すには?(介護など)
- ・70代、80代の世代が30代、40代に地域活動への参加を働きかける。

*** その他**

- ・さんかくプランの言葉・文章が難しい。
- ・税制度などいろいろな制度を変えていかなければいけない。
- ・意識調査だけでは× さらに深く調べなければ改善・実践に向けた評価・検証はできない。

ワークショップでの主な意見

Ⅲ 性別にかかわらず、誰もが能力を発揮し活躍できる活力あるまちの実現(女性活躍推進計画)

No	主なご意見
7 仕事と生活の調和の推進	<p>* 働き方や意識の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の長時間労働をやめさせる(子育てに参加できない) ・企業の長時間労働解消！！ ・子どもの成長に応じた仕事の仕方ができるとよい。 ・産休・育休の人員補充がないと産むことやタイミングが難しい。 ・家で仕事ができるようにするなど多様な働き方ができるとよい。 ・子育て・家事に男性はどう関わるか。 ・結婚、出産しても女性が働き続けられるように。ワークライフバランスが重要。 ・男性も女性も 家庭生活と仕事の両立の難しさが問題。 ・女性の再就職への支援が重要。 ・女性自身も意識を変える必要がある。 ・女性のスキルアップ、資格取得なども大切。 <p>* 企業の取組み促進、働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の改善、ノルマをなくす、休み時間を義務化。 ・育児休業など両立支援制度の充実。 ・LGBTなど性の多様性も認めながら職場で個性を活かす。 ・男性上司の意識の改革必要。 ・社員教育のためには経営者、管理職のリーダーシップが大切。 ・ワークライフバランスによって業績アップ、優秀な人材確保などメリットがあることを理解することが重要。 ・企業の意識を変えることが重要。 ・企業内保育所を設置するなど企業も改善するように努める。 ・企業内保育所などへの予算支援。 ・女性管理職比率を企業にも出させる。 ・市職員の男性の育休を必須に。 <p>* 保育等サービスの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族、共働きでどちらが迎えに行くかでケンカ。 ・病児保育を増やしてほしい。保育園に併設しては。 ・保育園に熱で迎えに行くのは妻が多い。 ・延長保育代を安くしてほしい。 ・保育士・福祉関係の処遇改善(給料アップ) ・空き家、空き幼稚園を保育園に活用しては。 ・保育サービスの充実、待機児童の解消。 ・認定子ども園を30に！ ・子育て支援センターの質の充実。 ・保育園に入れないと2人目、3人目がつくれぬ。

<p>8 働く場における女性の活躍推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの人格を尊重し違いを認める。 ・賃金格差の解消 ・働き方の改革や女性活躍は大企業はできても中小企業では難しい。 ・過労死の自殺の問題 経営者の意識が問題。罰則を強化。 ・法制度の充実。罰則をつくる。 ・出産を機に辞めさせられる。マタハラ。 ・マタハラ、パタハラへの対策、実効性が大切。 ・管理職の社会への貢献度で表彰されるシステムを。 ・農林水産業も町内会も女性の進出を！ 規約改正で組織改革する。 ・なぜ、男性社会(優位)になってきたのか、原因を考えるべき。(現状を知って対策を立てる) ・若手の育成(すでに育てているのに活躍できない?)=情報も人脈もある→フェイスブックなど活用している！ ・若手の活用
<p>9 参画促進の方向性 政策への男女共同決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員や議員を男女半々にしたらいいのではないか。 ・まずは市職員がモデルを示す。 ・市役所の柔軟な働き方の手本→企業へ広げる ・市の女性の管理職比率だけでなく企業を含めた比率を知りたい ・審議会の委員に年齢制限を設定しない。高齢者の意見が反映させない。 ・市民が男女共同参画や女性活躍を身近に感じることができるよう工夫が必要(ワークショップのネーミングを「市政」ボヤキ会にするなど。おもしろおかしく参加できるように！)